

# 研究実施のお知らせ

2026年5月8日 Ver.1.0

## 研究課題名

臨床工学技士と連携して行う血管内治療成績の後方視検討

## 研究の対象となる方

2020年4月-2030年3月の間に浜田医療センターで脳血管内治療を施行した患者様

## 研究の目的・意義

脳血管に血栓が詰まって閉塞した場合、脳梗塞に至ります。脳梗塞を発症すると、麻痺や言語障害などの後遺症が残ってしまいます。近年、血栓をカテーテルで回収する脳血栓回収療法という治療が普及し、閉塞血管の解除が可能となりました。

非常に良い治療なのですが24時間365日体制を維持するために当院では手術スタッフに臨床工学技士の支援を依頼しております。人材が確保される病院では医師のみの治療チームを形成が可能ですが、へき地である当施設では医師の確保が困難な状態です。しかし血栓回収療法は行うべき治療であるため、臨床工学技士の支援を得て治療を行っております。しかし、臨床工学技士支援下に行う治療の有効性や問題点は明らかになっておりません。そこで、当施設の治療成績を検討することでその有用性を明らかにしたいと考えております。

## 研究の方法

後ろ向き観察研究を行います。

患者様の医療機関での診療記録（カルテ記録）から必要な情報や治療結果を抽出し、データ化を行います。その結果をもとに検討や解析を行います

この研究に参加された場合、診療方法などは個人を得的できないように匿名化・記号化して管理を行います。あなたの個人情報を個人が特定できる形で使用することはありません。

## 研究の期間

2026年5月（研究許可後）から2030年3月31日

## 研究の公表

研究から得られた結果を用いて、医学関係の学会や学会発表を行ったり、論文投稿を行う形で公表する予定です。その際にあなたのお名前などの個人を得的できる情報を使用することはありません。

## 研究組織

研究代表者：木村 麗新	国立病院機構浜田医療センター	脳神経外科
研究責任者：江田 大武	国立病院機構浜田医療センター	脳神経外科
研究分担者：柴田 洋平	国立病院機構浜田医療センター	脳神経外科
研究分担者：古田 幸也	国立病院機構浜田医療センター	脳神経外科

連絡先：

国立病院機構浜田医療センター 脳神経外科 江田大武

TEL：0855-25-0505（代表番号から呼び出しをお願い申し上げます）